

石川工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	英語表現 I I I	
科目基礎情報							
科目番号	15630		科目区分		一般 / 必修		
授業形態			単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	建築学科		対象学年		3		
開設期	前期		週時間数		2		
教科書/教材	Buckingham, A., and Lansford, L.「Passport Second Edition Level 2」 (Oxford University Press)/自主プリント教材						
担当教員	アンソニー ダガン						
到達目標							
1. 基礎的な語彙を習得する。 2. 基礎的な慣用表現を覚える。 3. 基礎的な文法知識、語法を習得する。 4. 基礎的な英文読解ができる。 5. 基礎的な英文聴解ができる。 6. 基礎的な英作文ができる。 7. 基礎的な英会話ができる。 8. 異文化についての理解を深める。 9. 国際的な視点を身につける。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
到達目標 項目1, 2, 3	基礎的な語彙, 慣用表現, 文法を使うことができる。		基礎的な語彙, 慣用表現, 文法をおおよそ使うことができる。		基礎的な語彙, 慣用表現, 文法を使うことができない。		
到達目標 項目4, 5, 6, 7	基礎的な英文読解, 聴解, 英作文, 英会話ができる。		基礎的な英文読解, 聴解, 英作文, 英会話がおおよそできる。		基礎的な英文読解, 聴解, 英作文, 英会話ができない。		
到達目標 項目8, 9	異文化についての理解を深め, 国際的な視点を持つことができる。		おおよそ異文化についての理解を深め, 国際的な視点を持つことができる。		異文化について理解できず, 国際的な視点を持つことができない。		
学科の到達目標項目との関係							
本科教育目標 1 本科教育目標 3							
教育方法等							
概要	本授業では、語彙, 集中リスニング, 自己表現, 構文把握力, 発音の技術, 速読の技術を身につけ, 英語コミュニケーションの基礎学力を養うことを目標とする。また英語理解を通して, 国際社会への理解を広げる。						
授業の進め方・方法	英語コミュニケーション力を養い, 積極的に英語で自己表現を試みることを。 【事前事後学習など】適宜, 課題を課す。長期休業中に自習課題を与える。 【関連科目】総合英語, 英語講読 I						
注意点	応用力養成のため多読多聴図書 (図書館蔵) を活用すること。 【評価方法・評価基準】成績の評価基準として50点以上を合格とする。 前期中間試験, 前期末試験を実施する。 前期中間試験 (40%), 前期末試験 (40%), 小テスト・課題 (20%)						
テスト							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	Introduction: Unit 1: What's the purpose of your visit?		旅行に関するトピックで、スピーキングを中心とした言語活動を行うことができる。		
		2週	Unit 2: How much is it?		買い物に関するトピックで、スピーキングを中心とした言語活動を行うことができる。		
		3週	Unit 3: When is the next train to Xi'an?		旅行に関するトピックで、スピーキングを中心とした言語活動を行うことができる。		
		4週	Unit 4: The TV is broken.		宿泊先に関するトピックで、スピーキングを中心とした言語活動を行うことができる。		
		5週	Unit 5: What is there to see?		観光に関するトピックで、スピーキングを中心とした言語活動を行うことができる。		
		6週	Unit 6: I'd like to rent a snowboard, please.		遊びに関するトピックで、スピーキングを中心とした言語活動を行うことができる。		
		7週	Unit 7: Tell me about your country.		国に関するトピックで、スピーキングを中心とした言語活動を行うことができる。		
		8週	Unit 8: How was your weekend?		日常生活に関するトピックで、スピーキングを中心とした言語活動を行うことができる。		
	2ndQ	9週	Unit 9: Does it hurt?		ケガに関するトピックで、スピーキングを中心とした言語活動を行うことができる。		
		10週	Unit 10: I'd like a cup of coffee, please.		日常生活に関するトピックで、スピーキングを中心とした言語活動を行うことができる。		
		11週	Unit 11: Would you like to visit the Temple of Heaven?		観光に関するトピックで、スピーキングを中心とした言語活動を行うことができる。		
		12週	Unit 12: I want to send an attachment.		インターネットに関するトピックで、スピーキングを中心とした言語活動を行うことができる。		
		13週	Unit 13: I'd like a chicken sandwich, please.		レストランに関するトピックで、スピーキングを中心とした言語活動を行うことができる。		
		14週	Unit 14: Go straight along this road.		道案内に関するトピックで、スピーキングを中心とした言語活動を行うことができる。		
		15週	Review				
		16週					

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	小テスト・課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	20	0	0	0	0	100
基礎的能力	80	20	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0